



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS
THE Y'S MEN'S CLUB OF GOTEMBA

CHARTED 1986.4.7

2024
1
No.449

第1例会: 毎月第2木曜日18:30~ 第2例会: 毎月第4木曜日18:30~ 会場: YMCA東山荘 TEL: 0550-83-1133 FAX: 0550-83-1138
〒412-0024 静岡県御殿場市東山1052 (公財)日本YMCA同盟国際青少年センター東山荘 URL <http://www.ymcajapan.org/tozanso/>
OFFICE: YMCA TOZANSO 1052 Higashiyama Gotemba Japan 412-0024 E-MAIL: tozanso@ymcajapan.org

会長: 小野麻利子 副会長: 前原 末子 書記: 杉山 博恵 会計: 山本 光子 監事: 杉山 将己



国際会長主題 "Let Your Light Shine" 「輝かそう、あなたの光を」
アジア地域会長主題 "Be the light for change" 「変革のための光となろう」
東日本区理事主題 "Instil Confidence in our Youth!" 「未来のために、学びと気づきを！」
富士山部部长主題 「NEO 富士山部」
御殿場クラブ会長主題 「広めよう 地域社会にワイズを！！」
御殿場クラブ活動方針

1. 会員相互の親睦を深めると共に地域へのPRを行う。
2. 各地域への奉仕活動の参加。
3. 更なる会員増強の促進を。
4. 会員相互の和をもって、活動の充実を図る。



2024年1月3クラブ合同例会プログラム

- | | | |
|-------------------|---------------|---------|
| | 司会 | 杉山将己Y's |
| 1. 開会の言葉 | 司会 | 3クラブ会長 |
| 2. 開会点鐘 | | |
| 3. ワイズソング | 一同 | |
| 4. ワイズの信条 | 一同 | |
| 5. 聖句について | 森田 義彦Y's | |
| 6. 富士山部部长挨拶 | 部長 榎本博様 | |
| 7. 静岡YMCA理事長挨拶 | 稲田 精治様 | |
| 8. 入会式 | | |
| 9. 会長挨拶 | 3クラブ会長 | |
| 10. ゲストビジター紹介 | 御殿場クラブ会長 | |
| 11. 食前感謝 | 沼津クラブ会長 | |
| 12. コンサート | 富士五湖クラブ尾崎様ご夫妻 | |
| 13. 各クラブメンバー紹介 | 各クラブ会長 | |
| 14. 誕生日・結婚記念日祝い | 各自 | |
| 15. スマイル・YMCA基金報告 | 山本 光子Y's | |
| 16. 閉会の言葉 | 三島クラブ会長 | |
| 17. 閉会点鐘 | 3クラブ会長 | |

《今月の聖句》

創世記1章1~3節

- 1、始めに、神は天地を創造された。
- 2、地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。
- 3、神は言われた。「光あれ。」
こうして光があった。

《聖句の意味》

天地を創造された時に神は「光あれ。」と言われました。
酷い争いが絶えない地球上でも溢れるばかりの光が降り注がれます。
暗闇の中で一体、何が光なのかを新年に考えてみませんか。
きっと光は存在することを信じて。

1月結婚記念日おめでとうございます

自己申告

1月お誕生日おめでとうございます

- | | | | |
|-----|---------|-----|-----------|
| 3日 | 大割克美Y's | 26日 | 小野健二パートナー |
| 5日 | 前原末子Y's | 31日 | 前原和敏パートナー |
| 17日 | 川上秀典Y's | | |

12月例会報告

在籍数	12名	メネット	0名	スマイル報告	21,000
出席者	9名	コメント	2名	スマイル累計	1,095,915
メーキャップ	0名	ゲスト	2名	YMCA基金	2,203
出席率	75%	ビジター	7名	YMCA累計	219,902
修正出席率	75%	出席者	11名	BF活動切手	230g
		合計	20名		

BF便り

杉山博恵Y'sが
プルトップ160gと
古切手を持ってきてくれました。



12月例会報告

小野麻利子

12月14日（木）御殿場クラブと富士五湖クラブ合同クリスマス例会とし、20名の参加で行いました。司会は杉山博恵Y'sです。開会点鐘・ワイズソング・ワイズの信条、後、森田所長の聖句では、クリスマスはイエスの誕生として知られているが、その頃大勢の子供が略奪されるという悲惨なこともおきていたという。現在もパレスチナなど、世の中不穏な情勢。ワイズの人たちの幸せを願います。と。



司会

次に、富士五湖クラブ直前会長の望月Y'sが会長に代わり挨拶を。「ワイズ減少の中、未来に向け活動を続けていきましょう。」と。次に御殿場クラブ会長の小野Y's、「先日は台湾の方々との交流、お疲れ様でした。杉山将己Y'sの用意して下さった輪投げやペタボートでとても盛況裡に終わった。」ことを報告。又「合同での賑やかな例会、楽しみです。」と挨拶。



ゲストは来年1月入会予定の川上様、勝間田様、そして若林久美子Y'sのコメント美菜子さんとお友達のひよりさん参加。紹介の後、ふたりで元気なダンスを披露してくれました。



開会点鐘

食前感謝は前原Y's。人間は12歳の頃食べた味を覚えている、私は「うどん」でした。皆さんは？今日も残さずいただきます。食事はビュッフェスタイルでいただきました。

食後のコーヒーを飲みながら楽しみにしていたコンサートです。富士五湖クラブ尾崎様ご夫妻による演奏で、森山良子や中島みゆきなど懐かしい曲をギターと奥様の透き通るような歌声で皆を魅了してくれました。最後は皆で、翼をくださいやクリスマスソングを歌い、最高に盛り上がったコンサートでした。



聖句の森田Y's

その後、御殿場クラブの会員が2個づつ用意したプレゼントをくじ引きで皆さんに。その上富士五湖クラブの原俊彦Y'sがご自分で印刷したグッズ（バッグ・コップ・小物等）を用意してくださり、重ねてのくじ引きとなりました。くじ引きの途中で川上様・勝間田様に一言ずつ挨拶をしていただきました。望月Y'sより1月13日に富士五湖クラブでカラオケ例会を行います。御殿場クラブの皆さん是非参加をお待ちしています。との挨拶もありました。



クリスマス例会特別メニュー

誕生日のひなのさん結婚記念日は富士五湖クラブの後藤さんご夫妻でした。

本当に楽しいクリスマス例会となりました。

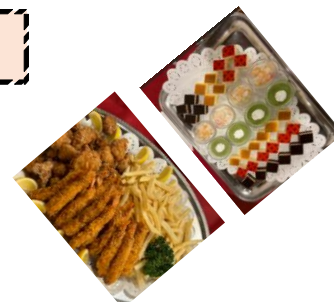
望月勉直前会長の挨拶に聴き入るメンバー



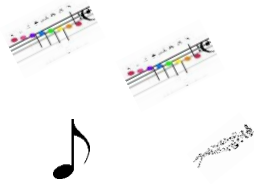
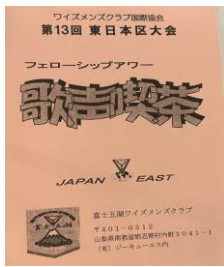
食前感謝・前原Y's



ダンスで飛び入り参加の若林美菜子さん（左）と久土絢依さん（右）



♪ コンサート ♪



尾崎 裕 (ゆたか) 様



尾崎時恵様

えっ！あの伝説の？”ゆたか” 尊達いでした

会場の紳士淑女の方々にパワーを降り注いでくれました。”ありがとうございました”



真剣～

昭和生まれから平成生まれの全員が一体となり、踊り出しました。久しぶりの楽しいクリスマス例会でした。



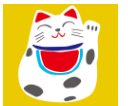
富士五湖クラブ 原俊彦Y's



全て原俊彦Y'sの作品で、ゲームの景品！

陶器に
ガラスに
布に
プラスチックに

特殊技術です。
焼き付ける
有名画家の絵を



古





銭の望月勉様の挨拶



参加者全員で、4-2は2ツ



小野麻利子会長の挨拶



新年の誓い



杉山博恵

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いたします。私にとって今年「古希」を迎える年です。遙か彼方遠い昔に漢文で習った、唐の詩人である「杜甫」が読んだ詩「人生七十古来希なり」に由来していると学習した覚えがあります。昔は70歳まで生きる人は希であり、70まで生きた人を祝う風習が生まれたと言われていました。元々中国からきた言葉ですが、日本の武将、織田信長公が好んで舞った「敦盛」の一節に「人間五十年化天のうちをくらぶれば夢幻のごとくなり 一度（ひとたび）生（しょう）を得て滅せぬ者あるべき

か。」も人生が短いことのとえです。その頃の寿命が50年とすると私はそれから20年も長生きしていることになります。私には、毎年誓いだけで年間続いたためしがない事があります。それは日記です。昨年は自叙伝でも書こうか、の勢いだったのですが、やっぱり挫折でした。そこで思いつきました「有言実行」です。ブリテンに掲載して、皆さんに告知すれば2024年12月31日には一年間の自分の行動や考えが文字として残るかもと。年末に「どう続いた？」と一声お声がけいただければ幸いです。

友は宝

前原末子



『これが最後だから出席して！』と同級生に連絡を取り、先日中学校の同級会が30年ぶりに行われました。私の出身は田舎の小さな中学校でしたので、集まったのは10人程度でしたが、皆んな元気でそれはそれは楽しい二日間でした。出席者は女性が多かったせいか、お喋りが止まりません。中には、中学校の卒業写真やサイン帳を持参した人がいて、今までよく保管して持っていたと思ひ感心しました。そのサイン帳をめくる毎に「これが俺の字？」「私こんなこと書いた？」と盛り上がるばかり。いつも間にか昔に戻ってしまい思い出話に花が咲き、時間が経つのも忘れ「もう二時だよ！」の声にビックリ！！ それでも目が冴えてしまった私たちは、部屋に戻り、又、お喋り。眠ってしまうのはもったいないような気がしました。誰にもそんな経験があると思ひます。小さな町の小さな中学校、幼なじみの私たちにとって、お互いの家族のことにも話が盛り上がります。いろいろな話題には尽きることはありませんが、これが最後の同級会と言いながら、「来年も会おう！」ということになり、「皆んな元気でいようね」を合い言葉に帰路に着きました。昔の友・今の友、友達は良い者だと感じた同級会でした。